

土曜

SATURDAY

ペットライフ

mail:bunka1@ma.kitanippon.co.jp

獣医の

カルテ



10



となみペット
クリニック院長
(砺波市高道)
前田 洋行

愛犬家の皆さん、狂犬病の予防注射はもう済みましたか。4月には市町村の集合注射があったと思いますが、まだ接種が終わっていないという人は、動物病院でぜひ注射を受けてください。

狂犬病は日本ではもう60年以上発症がありませんが（海外で感染して帰国後発症した例は近年あります）、海外との往来が非常に盛んになっている現在、その危険性は増していると考えられます。今回は、狂犬病についての雑学的な知識を紹介します。

狂犬病は狂犬病ウイルスによって引き起こされ、全てのほ乳類に

ほ乳類が感染する狂犬病

感染するとされ、発病した動物はほぼ100%死亡すると言われています。人間ももちろん例外ではありません。メソポタミア文明の記録にも狂犬病の記録があるそうで、太古より恐れられていた病気だと言えます。

恐れられている理由は、100%に近い死亡率に加え、その症状にあると考えられます。発病して神経症状が現れると、けいれんなどを起こすようになるのですが、特に水を飲むとすると喉や首の筋肉がけいれんして激しい痛みを

の、人を狂犬病から守ることが主眼となっています。それでは全てのほ乳類に感染するはずの狂犬病なのに、どうして犬だけが予防接種を受けなければならぬのでしょうか。狂犬病予防法の成立経緯が私にはわからな

水飲もうとすると痛み

伴うため、水を恐れるようになってしまいます。喉が渇いて水が飲みたいにもかかわらず、水が怖いために飲めなくて苦しみます。冷たい風などに当たっても同様な症状が起こるそうです。この後、全身のまひや昏睡を起こし、亡くなってしまう。相当な苦しみを伴って、最終的には死んでしまうという恐ろしい病気です。

いので何とも言えませんが、それは人の狂犬病の原因のほとんどが犬にかまれたことだからと考えられます。

それだからこそ、狂犬病予防法があるわけです。この法律は、狂犬病から犬を守る側面もあるもの

犬以外で身近な動物として猫がいますが、猫の場合は狂犬病にかかると、人の目を避けるように暗がりなどに隠れる傾向があり、かまれる事故は少ないようです。ただ非常に狂暴になるため注意が必要です。海外では猫にも接種を



狂犬病は猫や人を含め全てのほ乳類が感染する